平成27年６月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年５月13日

上 場 会 社 名	株式会社オウケイウェイヴ	上場取引所	名
コ ー ド 番 号	3808	URL	http://www.okwave.co.jp/
代　　表　　者	(役職名)代表取締役社長	(氏名)兼元　謙任	
問合せ先責任者	(役職名)取締役経営管理本部長	(氏名)野崎　正徳	(TEL)03(5793)1195
四半期報告書提出予定日	平成27年５月15日	配当支払開始予定日	―

四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有

四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

１．平成27年６月期第３四半期の連結業績（平成26年７月１日～平成27年３月31日）

（１）連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年６月期第３四半期	2,071	△14.6	△34	―	4	―	△31	―
26年６月期第３四半期	2,426	45.7	△298	―	△292	―	△107	―

(注)　包括利益　27年６月期第３四半期　△43 百万円（　―%）　26年６月期第３四半期　△103 百万円（　―%）

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円　銭	円　銭
27年６月期第３四半期	△3　61	―
26年６月期第３四半期	△12　52	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年６月期第３四半期	1,645	1,236	74.7
26年６月期	1,774	1,275	71.7

(参考)自己資本　27年６月期第３四半期　1,229 百万円　26年６月期　1,272 百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭	円　銭
26年６月期	―	0　00	―	0　00	0　00
27年６月期	―	0　00	―		
27年６月期(予想)				0　00	0　00

(注)　直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

３．平成27年６月期の連結業績予想（平成26年７月１日～平成27年６月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円　銭
通期	2,800	△13.6	20	―	40	―	10	―	1　15

(注)　直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動　　：　無
（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

新規　　―社（社名）　　、除外　　―社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　有

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無
②　①以外の会計方針の変更　　：　無
③　会計上の見積りの変更　　：　無
④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年６月期３Ｑ	8,703,000株	26年６月期	8,699,000株
②　期末自己株式数	27年６月期３Ｑ	60株	26年６月期	60株
③　期中平均株式数（四半期累計）	27年６月期３Ｑ	8,699,384株	26年６月期３Ｑ	8,609,947株

※　四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）４ページ「（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 4
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 4
２．サマリー情報(注記事項)に関する事項 …… 5
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 5
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 5
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 5
３．四半期連結財務諸表 …… 6
（１）四半期連結貸借対照表 …… 6
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 10
(継続企業の前提に関する注記) …… 10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) …… 10
(セグメント情報等) …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

①全般的概況

当第３四半期連結累計期間（平成26年７月１日～平成27年３月31日）における我が国経済は、企業業績の改善を背景に設備投資の拡大や雇用情勢の回復が見られ、長年続いたデフレからの脱却に向けた動きが進む半面、物価上昇等の懸念から、消費マインドの本格的な回復には至らず依然として先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当社におきましては、ソーシャルメディア事業において利用者数増加を狙いキャンペーンを実施したほか、サイトの利便性向上のため新機能を追加いたしました。エンタープライズソリューション事業においては、企業向けのイベント開催による当社製品の認知向上に努めました。加えて、ナレッジマーケット事業においては、新たな課金制モバイルサイトの提供を開始し、会員獲得に向けた広告宣伝に注力しました。

以上の結果、売上高は一部サービスを計画通り縮小したことにより前年同期比減少となり、2,071,340千円（前年同期比14.6%減）となりました。利益面では、固定費削減の効果が顕在化し、営業損失は34,150千円（前年同期298,081千円の損失)、経常利益は4,063千円（前年同期292,433千円の損失)、四半期純損失は31,432千円（前年同期107,770千円の損失）となりました。

	当第３四半期連結累計期間(千円)	前第３四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	2,071,340	△355,492	△14.6
営業損失（△）	△34,150	263,930	―
経常利益	4,063	296,496	―
四半期純損失（△）	△31,432	76,338	―

②事業別概況

セグメント別の状況は以下のとおりであります。

・ソーシャルメディア事業の概況

ソーシャルメディア事業では、日本最大級のQ&Aコミュニティ「OKWave（オウケイウェイヴ)」のほか、Q&Aから派生した複数のサービスを運営しています。

当期においては、楽天スーパーポイントを授与するキャンペーンの実施や、Q&Aを電子書籍化する取り組みを開始し、新たな収益機会の創出を狙いました。また、広告枠の増設や新商品の販促活動を強化し、広告単価の向上に努めました。

以上の結果、広告単価は伸長しましたが、サイト閲覧数が回復途上の局面であることと、一部取引先との契約変更による広告収入の減少により、売上高は前年同期比減少となりました。費用面では、広告宣伝費の増加を固定費削減で吸収し、売上原価と販売費及び一般管理費がともに減少しました。

	当第３四半期連結累計期間(千円)	前第３四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	363,736	△99,039	△21.4
セグメント利益	28,349	91,406	―

・エンタープライズソリューション事業の概況

エンタープライズソリューション事業では、FAQ（よくある質問）を作成、編集、公開する一連の流れを搭載した、特許技術を有するシステム「OKBiz（オウケイビズ)」など、企業向けのソリューションを提供しています。

当期においては、定期的なセミナーの実施やイベントへの出展によるニーズの発掘に努めました。製品面では、FAQ利用顧客の理解度向上のため動画制作のサービスを開始しました。

以上の結果、導入企業数の増加と案件単価の向上により、売上高は前年同期比で増加しました。費用面では、営業体制強化に伴い固定費が増加したほか、イベント出展にかかる広告宣伝費が発生しましたが、売上高の増加で吸収し、利益は前年同期比増加となりました。

	当第３四半期連結累計期間(千円)	前第３四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	911,097	47,995	＋5.6
セグメント利益	372,898	11,146	＋3.1

・ナレッジマーケット事業の概況

ナレッジマーケット事業では、知識流通という概念で、複数の課金制モバイルサイト等（※）を運営しています。

当期においては、文学者とQ&Aのやりとりができるサイト「飯田橋文学会」と、「能町光香の気づかいレッスン」を開始し、会員獲得に注力しました。なお、これらの新規サイトは「OKWave Premium」として一元化されたプラットフォームで開発、運用することでコストの軽減を図りました。既存のサイトにつきましては、効果的な広告宣伝による新規会員獲得に加え、コンテンツの追加による継続利用促進に努めました。

以上の結果、新たな利用者の獲得が進み、売上高は前年同期比で増加しました。費用面では、新規サイトの開発費用ならびにサイトの運用開始に合わせた広告宣伝費が売上に対し先行発生しました。

（※）スマートフォンや従来型携帯電話向けに提供している課金制サイト

	当第３四半期連結累計期間(千円)	前第３四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	120,486	38,241	＋46.5
セグメント損失（△）	△56,199	81,026	―

・多言語CRM事業の概況

連結子会社株式会社ブリックスの主要な事業である多言語CRM事業では、24時間365日体制の多言語コンタクトセンターを運営し、カスタマーサポート業務を提供するとともに、バイリンガルや技術者の派遣等を行っております。

今期から非注力分野と位置付けている技術者派遣事業、一般派遣事業の案件縮小により、売上高は前年同期比減少となりましたが、多言語コンタクトセンターの売上高については、地方自治体及び旅行業の案件が寄与し、順調に進捗しました。費用面では、営業体制強化に伴う費用が増加しました。

	当第３四半期連結累計期間(千円)	前第３四半期連結累計期間比	
		増減額(千円)	増減率(%)
売上高	612,481	△29,934	△4.7
セグメント利益	9,341	△41,396	△81.6

・営業アウトソーシング事業の概況

連結子会社株式会社ブリックスの事業である営業アウトソーシング事業では、通信回線販売業界において、短期・中期的に、顧客企業が必要とする販売スタッフの労働力を、業務請負および派遣契約により提供しています。

当事業は、市場環境を鑑み当期末までに撤退する計画のもと、リソースの大部分を他事業に移管いたしました。

以上の結果、売上高は前年同期比減少となりました。費用面では、固定費の大幅な削減を行い、セグメント利益は黒字となりました。

	当第３四半期連結累計期間（千円）	前第３四半期連結累計期間比	
		増減額（千円）	増減率（%）
売上高	63,539	△312,755	△83.1
セグメント利益	2,157	35,300	―

（２）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(ア)資産

当第３四半期連結会計期間末における資産残高は、主に「受取手形及び売掛金」の減少及び「繰延税金資産」の取崩しにより1,645,271千円（前連結会計年度末比129,000千円減少）となりました。

(イ)負債

当第３四半期連結会計期間末における負債残高は、主に「買掛金」及び「未払金及び未払費用」、「借入金」の減少により408,596千円（前連結会計年度末比89,875千円減少）となりました。

(ウ)純資産

当第３四半期連結会計期間末における純資産は、主に「利益剰余金」の減少により1,236,675千円（前連結会計年度末比39,125千円減少）となりました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年１月23日に公表いたしました連結業績予想から修正は行っておりません。

２．サマリー情報(注記事項)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

当第３四半期連結会計期間において、株式会社OKStyle及び株式会社OKALLは清算結了したため、連結の範囲から除外しております。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

一部の項目について簡便な会計処理を適用しておりますが、重要なものはありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 （平成26年６月30日）	当第３四半期連結会計期間 （平成27年３月31日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	656,733	664,230
受取手形及び売掛金	425,695	334,685
仕掛品	―	8,803
その他	46,486	39,956
貸倒引当金	△1,143	△2,128
流動資産合計	1,127,771	1,045,547
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	71,966	73,446
減価償却累計額	△45,383	△50,425
建物及び構築物（純額）	26,582	23,020
工具、器具及び備品	348,991	398,248
減価償却累計額	△287,067	△304,484
工具、器具及び備品（純額）	61,923	93,763
有形固定資産合計	88,506	116,784
無形固定資産		
ソフトウエア	49,592	34,088
ソフトウエア仮勘定	22,448	13,729
のれん	681	―
その他	15,152	14,056
無形固定資産合計	87,874	61,875
投資その他の資産		
投資有価証券	314,347	293,507
その他	247,427	192,083
貸倒引当金	△91,655	△64,526
投資その他の資産合計	470,119	421,064
固定資産合計	646,500	599,724
資産合計	1,774,272	1,645,271
負債の部		
流動負債		
買掛金	71,881	41,783
未払金及び未払費用	208,481	180,234
未払法人税等	11,959	3,895
短期借入金	11,000	1,000
1年内返済予定の長期借入金	17,192	9,686
その他	97,769	100,947
流動負債合計	418,283	337,547
固定負債		
長期借入金	38,000	32,600
資産除去債務	32,485	32,603
その他	9,701	5,845
固定負債合計	80,187	71,048
負債合計	498,471	408,596
純資産の部		
株主資本		
資本金	979,235	979,635

資本剰余金	949,035	949,435
利益剰余金	△657,014	△688,923
自己株式	△36	△36
株主資本合計	1,271,218	1,240,109
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	14	―
為替換算調整勘定	1,370	△11,054
その他の包括利益累計額合計	1,384	△11,054
新株予約権	1,876	7,621
少数株主持分	1,321	―
純資産合計	1,275,800	1,236,675
負債純資産合計	1,774,272	1,645,271

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年７月１日 至 平成26年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年７月１日 至 平成27年３月31日）
売上高	2,426,833	2,071,340
売上原価	1,747,258	1,246,472
売上総利益	679,574	824,867
販売費及び一般管理費	977,656	859,018
営業損失（△）	△298,081	△34,150
営業外収益		
受取利息	755	415
為替差益	4,737	29,102
貸倒引当金戻入額	3,425	27,150
雑収入	7,541	3,047
営業外収益合計	16,459	59,715
営業外費用		
支払利息	1,507	927
貸倒引当金繰入額	8,400	―
持分法による投資損失	―	20,538
雑損失	903	35
営業外費用合計	10,811	21,500
経常利益又は経常損失（△）	△292,433	4,063
特別利益		
新株予約権戻入益	1,302	―
投資有価証券売却益	―	89
関係会社株式売却益	224,398	―
受取保険金	―	21,835
特別利益合計	225,701	21,924
特別損失		
固定資産除却損	1,137	948
減損損失	15,273	―
和解金	―	7,500
特別損失合計	16,410	8,448
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	△83,142	17,539
法人税、住民税及び事業税	10,251	4,006
法人税等調整額	15,101	44,935
法人税等合計	25,352	48,942
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△108,494	△31,402
少数株主利益又は少数株主損失（△）	△724	29
四半期純損失（△）	△107,770	△31,432

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成25年７月１日 至 平成26年３月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成26年７月１日 至 平成27年３月31日）
少数株主損益調整前四半期純損失（△）	△108,494	△31,402
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	8	△14
為替換算調整勘定	5,343	△12,425
その他の包括利益合計	5,352	△12,439
四半期包括利益	△103,142	△43,842
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△102,418	△43,872
少数株主に係る四半期包括利益	△724	29

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間(自　平成25年７月１日　至　平成26年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント						調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	ソーシャルメディア事業	エンタープライズソリューション事業	ナレッジマーケット事業	多言語CRM事業	営業アウトソーシング事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	462,775	863,102	82,244	642,415	376,294	2,426,833	―	2,426,833
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	2,250	―	1,440	918	4,608	△4,608	―
計	462,775	865,352	82,244	643,856	377,212	2,431,441	△4,608	2,426,833
セグメント利益又はセグメント損失(△)	△63,056	361,752	△137,225	50,738	△33,142	179,064	△477,146	△298,081

(注)１　セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２　セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２.報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

「ソーシャルメディア事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては4,074千円であります。

「ナレッジマーケット事業」セグメントにおいて、固定資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第３四半期連結累計期間においては11,199千円であります。

（のれんの金額の重要な変動）

「ソーシャルメディア事業」セグメントにおいて、Davia, Inc.よりバースデーカレンダーなどのウェブサイト(Davia.com) 及び有料アプリなどのデジタルグリーティングカード事業を譲り受けております。なお、当該事象によるのれんの増加額は57,929千円であります。

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　平成26年７月１日　至　平成27年３月31日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント						調整額(注)１	四半期連結損益計算書計上額(注)２
	ソーシャルメディア事業	エンタープライズソリューション事業	ナレッジマーケット事業	多言語CRM事業	営業アウトソーシング事業	計		
売上高								
外部顧客への売上高	363,736	911,097	120,486	612,481	63,539	2,071,340	―	2,071,340
セグメント間の内部売上高又は振替高	―	2,250	―	33	―	2,283	△2,283	―
計	363,736	913,347	120,486	612,514	63,539	2,073,623	△2,283	2,071,340
セグメント利益又はセグメント損失(△)	28,349	372,898	△56,199	9,341	2,157	356,547	△390,698	△34,150

(注)１　セグメント利益又はセグメント損失の調整額は、全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない管理部門等に係る費用であります。

２　セグメント利益又はセグメント損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

２．報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。